

JIACPD 2 単位

「近代建築 - アメリカの "Less is More" とヨーロッパの "Less is Rich" をめぐって」
～ウィーンから - 工芸と建築的造形の『ふりだし』をめぐって～
講師：建築家 三谷克人氏

三谷氏は、1970年末から現在に至る長年に渡り、ウィーンに滞在して設計事務所を主宰、現地の建築家の職能を身をもって体験されてきました。その間、数々の実施コンペを勝ち抜き作品を実現する一方、建築の都ウィーンから見た、ヨーロッパを中心とした建築・デザインの歴史を、独自の視点で研究されています。氏のブログの冒頭に『「デザインは学べない」という通説があります。しかし...インプットされた知識が相互に共鳴しあって、ついには新しい境地に至ることも、あって良いのではないのでしょうか。...でも残念ながら知識はそれに止まり、生きても、生かされてもいません。それは学力の不足でも何でもなく、知識が相応にインプットされないからなのです。』とあります。今回の講演では、いわゆる近代主義の裏に葬り去られた「もうひとつの近代建築」を再発見する事により、そこに現代にも通用する新たな展開がありうるという可能性を、これまでのご自身の仕事や歴史的事例を引きつつ、お話し頂きます。同時にヨーロッパの街の都市計画や地域の振興の実際といった、日本が直面する課題についても、語って頂く予定です。

Profile

建築家 三谷 克人
(一級建築士、オーストリア建築家中央連合会ならびに日本建築学会会員)

- 1975 京都大学工学部建築系学科卒業
- 1979 建築の見聞を広めるべく渡欧
- 1980 - ウィーン工科大学在籍。ファルクナー建築事務所勤務のかたわら
ウィーンの建築思潮の研究
- 1992 建築設計事務所トランスポリス(TRANSPOLIS)をウィーンに設立、
独自の設計活動開始

以来、設計・施工・監理そして管理にわたるヨーロッパの建築家の職能を遂行、ガソリンスタンドからカトリック教会まで幅広い作品を手がける。地域のリノベーション、景観保護地区の建築物、ウィーン市営住宅、歴史的遺構のコンバージョンなど、その背景にあるシステムに通じ、研究者への助言活動を継続中。

現在は、高地オーストリアの歴史都市「フライシュタット(Freistadt)」の地域振興プロジェクトを推進中。

< ブログ >

ウィーンから - 工芸と建築的造形の『ふりだし』へもどろう

<http://transpolis-theory.cocolog-nifty.com/blog/>

オーストリアのスローでリッチな地域づくり

<http://transpolis.exblog.jp/>

< 作品 >

<http://picasaweb.google.at/transpolis.mit>

11月特別例会申込用紙

- ・ 事務所名 : _____
- ・ 氏名 : _____
- ・ セミナー : 参加 不参加
- ・ 懇親会 : 参加 不参加
- ・ 申込先 : J I A 近畿支部事務局 FAX.06-6229-3374 E-mail. jia@bc.wakwak.com